



学年別指導の重点		
<p>1 学年 「あすを生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な見方、考え方ができ、人間としての生き方を認識できる生徒を育成する。 ・相手の立場に立って行動できる、思いやりのある生徒を育成する。 	<p>2 学年 「あすを生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え進んで行動する。 ・互いに理解し助け合う。 ・よく学び美しい心を養う。 ・責任を持ってやりぬく態度を養う。 ・自他の生命を大切にすることを養う。 	<p>3 学年 「あすを生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ、人とのかかわりを考える。 ・自然や美しいものや崇高なものの力を感じる。 ・社会の中の自分をとらえ、自分にとっての家族や郷土や日本を知る。

特別活動

- ・生徒の自発的、自治的な集団活動を尊重し、人間的な成長と人間的なふれあいを促す。
- ・集団生活の規律・協力・責任等を実践的に学ばせ、集団の一員としての立場を理解して行動できる態度を養う。

総合的な学習

- ・自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・体験的な活動を通して、自己の生き方を考える態度を養う。

その他の教育活動

- ・グループによる清掃活動を通して、協力・責任等を実践的に学ばせる。
- ・感謝の心を持って、進んで学校環境及び地域の美化に努める態度を養う。

道徳の時間

- ・各教科、特別活動及び総合的な学習の時間における道徳教育との関連を図りながら、補充・深化・統合して、生徒の道徳性を養う。
- ・道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てる。
- ・生徒と教師がともに共感できる資料の収集や活用に努める。

家庭・地域等との連携

- ・PTA 広報、学校だよりなどを通して、道徳的実践への理解と協力を求め、生徒の望ましい道徳性の向上を図る。
- ・地域の理解と協力を得て、中学生としての基本的生活習慣を身に付けさせる。
- ・地域や諸機関と連携して、ボランティア思想の浸透とボランティア体験の推進を進める。
- ・地域の人に授業や諸活動を公開し、また授業への参加と協力をお願いする。
- ・相模中学校区児童・生徒連絡会、同青少年健全育成連絡協議会、小学校、地域関係諸団体との相互理解と綿密な連絡により生徒の校外生活における道徳性の向上を図る。

各教科

国語
日本語を通して、社会のあり方や人間の生き方について考える。

社会
人間の歴史、国際社会の理解等公民的資質の基礎を養う。

数学
問題解決に取り組むことにより、忍耐力・遂行力を育成する。

理科
自然への理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

音楽
表現や鑑賞を通して、豊かな情操や生きることの喜びを育てる。

美術
作品の制作や鑑賞を通して、個性尊重、美に感動する心を育てる。

保健体育
主体的体験を通して、心身の健康や集団生活に必要な態度を養う。

技術家庭
体験的学習を通して、生活の充実を図り、実践的態度を育成する。

英語
言語や文化に対する理解を深めコミュニケーション能力の基礎を養う。